

# 平成 29 年度 地域ケアプラザ事業報告書

## ■ 施設名

奈良地域ケアプラザ

## ■ 事業報告

以下、事業実施評価との共通部分

### 1 全事業共通

#### (1) 地域の現状と課題について

(高齢者) 当プラザ担当区域の高齢化率は、平均で 21,7%。高齢化率が 33%を超える奈良町と 10%台の他の地域と高齢化率に開きはあるものの、独居や夫婦のみの高齢者世帯はどの地域にもみられ、様々な生き辛さを抱えている。広い宅地を 2 分割 3 分割して新築される家には今のところ遅滞なく若い世代の流入がみられているが、5,600 人を超える高齢者も 1 年たてば 1 歳ずつ歳を重ね、その合計 5,600 歳を薄めるには、乏しい若い世代の流入である。日常生活面における金銭管理(例えば、光熱水費を初めとする支払や通販の過購入等)、健康管理(通院できない・しない問題、服薬管理不能、アルコール過剰摂取等)、情報の収集の不能、移動手段確保困難等の課題は 1 年 2 年の短い時間では解決困難であり、29 年度は引き続き高齢世帯のこのような問題取り組んできた。普通に年金を受け取っていても昔からの生活習慣を変えることができず、支出が収入を上回り、生活の維持が困難になってしまう方々の支援も継続して行っている。このようなケースは今後世代を下るにつれ増えてくると考えている。疎になっている家族・親族との連絡は区役所の協力もあり、29 年度は大きく困ることはなかった。この手の課題には引き続き連携をとって、区役所と共にスピーディーに対応に当たりたい。緊急事態に家族と連絡をとる手段については、何らかの政策的な視点が必要になると思う。UR の事業戦略に若干の変更は見られたものの、高齢(独居)の住民が奈良北団地に集まってきている現状は変わらない。住所も移していない、事前の情報もない住人に何かあったとき、できることは何か・・・不安を抱えながらなんとかやれることをやってきた 1 年である。

(障害者) 29 年度は、発達障害のある高齢者への支援、認知症の母と発達障害の母との関係性に基づく虐待に対する対応・支援等発達障害がキーワードになる 1 年であった。包括職員に精神疾患の専門家がないという現状はこれからの世の中の進行を考えると不安を覚えるが、学習により新しい知識を得、過去の発達障害者への対応を伝え学び合う中でなんとか地域並びに当事者に不安を抱かせず来た。発達障害のある方々のもつ独特な世界観と世間とのズレは私たち専門職が埋めていかなければならないものであるという認識のもと支援を継続している。長期戦の支援を地道に継続して行きつつ、地域ケア会議や面談等を通して、地域の方に正しい情報を伝えいく努力を続けていくこととしたい。

この発達障害に関する対応はいわゆる 8050 問題への対応・解法につながる可能性があり、親に対する暴力という形が現れることがよくあるという点からも双方を切り離すことなく対応していくことができると考えてきた。今後も慎重に対応していきたいと思う。障害支援に関する相談機関にも連絡を取り、啓発活動を共に行ってきた。

知的障害者支援については、引き続き併設する青葉メゾンと連携をとり、地域での課題等に対応してきた。

(子ども・母親) 子育てに関する個別の相談のために地域ケアプラザを利用するという形がなかなか形成できない。考えてみれば、子育ての相談・支援の場として地域ケアプラザがこれまで強調されることはなく、専門家や地域の教育機関等との連携もなく、ただ場所や集まる機会を提供するだけという形になっている。29 年度は横浜市

教育委員会の北部事務所も訪問したが、取りつく島がなかった。育児に漠然とした不安を抱えている母親には引き続き「大丈夫だよ」という声掛けを続け、共に子どもたちの成長を見守ってはきた。その意味では、20年後、30年後の安定した地域づくりの礎になる母と子の関係づくりのお手伝いはできたと考える。育児休暇の終了を迎え職場復帰を考える母親の不安も多く受け止めることができ、困ったときの再会を約束する機会を得ることもできた。

(地域づくり) 奈良という地域が、地域としてしっかりとしたまとまりをもっていることを改めて認識できた1年であった。これと言って大きな理由があったわけではないが、地域の皆さんとお話をする中で、また様々なイベントに参加させていただく中で感じ取れたものである。地域の諸活動に参加するいわゆる地域の担い手育成の問題は変わらぬ課題であるが、この地域のポテンシャルを考えると、様々な場所で多くの方と語り続けることこそがその答えに近づく方法ではないかと思う。地域づくりに対し定年退職後の男性の関心が弱いのは変わらずである。現役時代から近所との付き合いを欠いてきた男性には、地域を意識すること自体難しい。無理に地域を意識させるのではなく、個々に地域の中で活躍できる場を設け、気がついた時には地域の役割を担っていたという流れが必要と考えてきたが、具体的な活動につながっていない。また、空き家問題については、高度に専門性が必要と判断したため、次年度に専門家を招き地域の啓発につなげたい。この問題については行政との連携をとっていく必要も感じている。

一昨年、昨年と同様、行政・福祉保健団体と日頃から連携に努め、情報の交換を正しく行ってきた。29年度はお互いの機関がオーバーラップして機能する機会を得ることができたと考える。福祉保健団体の担い手の高齢化、人数不足はさらに深刻であり、廃止された地域づくりの事業も引き続き見られた。そのため、地域や市民生活に直結する情報がとりにくくなってきた面もある。プラザ側の情報収集能力並びにネットワークも課題かと思う。

広報活動については、これまで行われてきたものを地道に繰り返し続ける一方、ブログの活用が積極的にできた1年であったと思う。

## (2) 相談（高齢者・子ども・障害者分野等の情報提供）

高齢者や独居世帯、また経済的困窮者や精神疾患等の継続的増加により、相談内容も多岐にわたり、件数も一日平均8件と相変わらず多かった。一人で多問題を抱えたケースも変わらず多く、一つのケースに向き合う時間も多くなり、職員の疲労は相当なものであった。当事者及び住民が住みなれた地域で安心して生活ができるようにと医療・福祉・行政等の関係機関との連携を図りながら問題解決に取り組んできた。また地域の民生委員や医療機関・商店街等との顔の見える関係づくりについて意識して取り組んできた。

子育て支援における相談では、おさんぽ広場やリトミック等の事業で民生・児童委員の方の助言を仰ぎつつ、活動の中で相談を受けてきた。専門機関であるラフルの顔が見えず地域的な隔たりを引き続き感じた。

障害児者支援においては、障害者施設併設の利点を生かし、必要に応じて相談機関への連絡調整が出来る環境を整えてきた。

### (3) 各事業の連携

事業所内において職員間の会話は多く、情報交換はよく行われていたと考える。これは介護保険事業においても同様であった。

5職種においては、定期的に5職種会議を開催しお互いの情報を交換、また、各事業の現状を把握しあい、業務をスムーズに進めるための協業体制を築くことができた。お互いがケースの情報も含め把握していたことで、電話等の対応も混乱することがなかった。今後も相談者を待たせることの無い体制の構築に努めていきたい。

### (4) 職員体制・育成、公正・中立性の確保

将来にわたって、地域包括支援センターの職員体制に欠員が生じないように、資格取得を勧めとも職員の年齢構成は高く、育成する対象となる若年の職員を経営的にも雇用することができない。このままでは、将来も、ケアプラザ経験のない新規採用職員を採用後に育成するという形になっていくと思う。

一方でベテラン職員は、必須の職員研修に限らず、専門性の向上にむけて、虐待防止、地域ケア等幅広い研修に取り組み、支援者としての幅を広げてきた。相談者の心の声に耳を傾け、感情のセルフコントロールができるよう研鑽に努めてもきた。

公正・中立性の確保については常に気を配ってきた。

### (5) 地域福祉保健のネットワーク構築

地域包括では毎月、奈良・奈良北民児協定例会等に参加して情報交換や連携について話し合いをし、共同事業を行ってきた。地区社協の行事にも積極的に参加し、連携をとってきた。

また、青葉メゾン・奈良地域ケアプラザ祭りでは近隣自治会主催の「はらっぱ祭り」、緑協和病院主催「緑協和秋祭り」との同時開催を実現し、地域と医療と福祉との連携をさらに深めることができたと思う。

### (6) 区行政との協働

ケースへの対応、地域住民の困りごとに対する対応等、事業企画係以外の区の他部署との連携はこれまでに比べ密に行うことができた。区役所の努力に感謝したい。

2年目となる生活支援体制整備事業では、区役所及び区社協、他関係機関とも連携し、既存の支援ニーズ・社会資源の整理、課題の分析等を行い、地域活動の支援、資源開発を継続して行ってきた。

地区別推進会議、地区別チーム会議等にも参画し、第3期福祉保健計画の推進を支援してきた。

## 2 地域活動交流事業

### (1) 自主企画事業

子育て支援の定期事業として、【リトミックならら♪】を実施。若いお母さん世代ということもあり、口コミであつという間に広がり参加者数は安定して行うことができた。他には誰でも来場可能なコンサートや鴨志田地域ケアプラザと共催で実施したウォーキング、お父さんにケアプラザの機能周知や家庭で活躍する場面を増やす目的で実施した家族向けの事業など、幅広く事業を展開することができたように思う。

また、自主事業として実施してきた麻雀サロンが自主化、書道教室は半自主化といった新年度への流れを作ることもできた。

## (2) 福祉保健活動団体等が活動する場の提供

施設団体利用交流会で団体Ⅱに向けたボランティア活動一覧を配布し、適宜ボランティア活動を案内が可能なことや、活動で困りごとがあれば相談に乗れる体制を周知した。また、計画として考えていた他施設での活動や紹介についても対応できた。ただチラシの配下依頼のみでなく、顔の見える関係作りを意識した。

## (3) ボランティアの育成及びコーディネート

園芸ボランティア団体【奈良花の会】の後方支援を始めることができた。地域の垣根を超えた付き合いが展開できるように、定期的に交流会を行った。活動は施設周辺の美化を意識して適宜行い、気持ちよく活動してもらえるよう備品の置き場所等を考え対応した。

デイや交流でボランティア活動を行っていただいている方々には日々の感謝を述べつつも、悩みや困りごと等がないか意識してコミュニケーションをとることを心掛けた。

## (4) 福祉保健活動等に関する情報収集及び情報提供

各種事業にてアンケートを実施し、参加者のニーズや地域課題の把握に努めた。地区社協、民児協等の会合に参加させてもらい、地域の状況や事業等の情報提供を実施した。

法人ホームページやブログ、区の広報誌やホームページを活用し事業等の周知を実施。包括や生活支援C〇と協力し、地域の施設やお店に挨拶回りをを行い、ケアプラザの周知や事業の案内を実施した。

# 3 生活支援体制整備事業

## (1) 事業実施体制

月1回、5職種会議を開催し、事業や地域資源等の情報共有を実施。  
認知症カフェ、介護教室等の5職種共催事業を開催。  
生活支援C〇連絡会、各種研修資料を所内で回覧。  
包括カンファレンスへの参加。  
地域ケア会議開催に向けて関係機関と事前打合せを実施。

## (2) 地域アセスメント（ニーズ・資源の把握・分析）

奈良北地区社協において、日常生活に関するアンケートを実施し、課題・ニーズを把握。エリア地域ケア会議（協議体）にて情報共有する。  
総合相談から生活支援ニーズを把握。  
地区社協、民児協等の会合、地域活動に参加することにより、地域の活動を把握。老人クラブへ活動アンケートを実施。  
把握した情報はA y a m uシステムで管理、所内の包括、地域交流レベルでの情報共有を実施。

### (3) 連携・協議の場

老人会においては活動に関するアンケートを実施し、活動状況について把握に努めている。奈良地区においては地区社協に参加。また、中学生を交えた意見交換会を実施。奈良北地区においてはエリア地域ケア会議（協議体）を2回開催。「年齢に関係なく、地域に関心を持ってもらうには」をテーマに話し合いを行う。  
エリアにおける地区社協、民生・児童委員の会合に参加。必要に応じて活動の協力・支援を行っている。  
奈良北団地ではケア会議や会合を通じて2月に自治会・地区社協・民児協の協力出張ここならカフェ（認知症カフェ）を開催。

### (4) より広域の地域課題の解決に向けた取組

生活支援COの研修会や連絡会、情報共有シート等により他のケアプラザの活動を把握。  
区レベル地域ケア会議、区域の協議体、区計画推進プロジェクトに参加し、区域の地域課題の共有を実施。

## 4 地域包括支援センター運営事業

### (1) 総合相談支援業務

#### ① 地域におけるネットワークの構築

○例年、地域の居宅支援事業所・商店街・金融機関・医療機関・薬局等を訪問を継続し、地域包括支援センターのオリジナルパンフレットを配布し役割の周知や連携・協力への働きかけを継続することでタイムリーな連携を図ることができている。  
○エリア内2地区の民児協定例会に毎回参加したり、民児協等と共済事業等を開催。それにより個別ケースをはじめ地域の情報共有を図りながら早期発見や対応、連携した支援に繋げることができている。  
○老人クラブ定例会等への参加を継続し、地域包括支援センターの機能周知を図ると共に、相談しやすい顔の見える関係づくりのさらなる構築に努めた。

#### ② 実態把握

○日頃の総合相談の内容からの傾向把握、統計等のデータ分析したり、地域住民からの情報収集等から地域の実態やニーズを把握するように努めた。  
○地域の医療機関、薬局、商店街店舗等への訪問、自治会、老人会、民児協等の会合への参加、事業開催におけるアンケート集約、地域へ出向いての出張講座等を通して、地域の活動状況やニーズ、個別ケース情報等を把握したり、地域の社会資源の情報収集等に繋げている。

#### ③ 総合相談支援

○パソコンでのデータ管理によるシステムの構築により、包括職員誰もが迅速かつ的確に日々の相談内容に対応できている。さらに継続的な支援が必要なケースは、個別ケースファイルを作成することで状況経過の確認が容易となり、適宜支援を行うことができている。  
○多問題を抱えるケースが増加しており、三職種の専門性を活かしたチームアプローチをはじめ、行政をはじめとした関係機関と連携を図りながら組織的な対応・支援体制に努めた。  
○介護保険のみならず、クライアントのニーズにあったインフォーマルサービスや行政サービス等の情報提供を行ったり、地域の関係機関（ボランティアグループ、NPO

法人、団地管理事務所、区社協、行政等)と連携を図りながら適切な支援ができるようにした。

## (2) 権利擁護業務

### ① 成年後見制度の活用促進・消費者被害の防止

○今年度、弁護士の無料法律相談会や青葉区版エンディングノートの書き方講座を通して成年後見制度の説明を行いより身近に成年後見成制度の理解に努めた。  
○消費者被害について1人でも多く身近に感じてもらえるよう老人クラブの定例会で消費者被害の出張講座を開催する等して、消費者被害の注意喚起に繋げた。

### ② 高齢者虐待への対応

○本年度のネットワークミーティング開催は11回、振り帰りは5件実施するなど、行政機関をはじめ関係機関等と連携を図りながら問題の解決に迅速に対応できるように努めた。  
○介護者のつどいを6回開催。日頃の相談等を通して該当される方々に声かけ等で参加を促し、介護者の負担軽減および虐待防止に繋がられるように努めた。

### ③ 認知症

○認知症カフェ「ここならカフェ」を月1回開催。当事者や当事者家族、地域住民等、多くの方々に毎回参加いただき、それにより地域ぐるみで認知症の理解に取り組んでもらえるようにしている。  
○例年中学校をはじめ地域住民を対象に認知症サポーター養成講座を適宜開催。また今年度は初めての取り組み事業として介護教室(年4回)を開催し、そのなかで認知症に関する正しい知識や理解の普及・啓発を行った。

## (3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

### ① 地域住民、関係機関等との連携推進支援

○商店街、コンビニ、スーパー、薬局、医療機関へ訪問を行い、ケアプラザや地域包括支援センター、ケアマネジャーの役割などについて説明し周知に努める。  
○民生委員とケアマネジャーとの連携強化に向け、毎年実施している意見交換会を6月に実施した。

### ② 医療・介護の連携推進支援

○エリアのクリニック、薬局への定期的訪問を継続した。  
○ケアプラザの協力医によりケアマネジャーとサービス事業所向けの勉強会を定期的で開催する。  
○地域包括支援センター主催、青葉区医療拠点主催での医療介護の多職種での事例検討会や意見交換会を開催し多職種連携強化に繋げた。

### ③ ケアマネジャー支援

- 電話での適宜の相談の他、毎月の事業所訪問を実施し顔を合わせてのケース相談を行う。
- 単独、又は、多くの包括支援センターとの共催にてケアマネジャー向けの研修会（事例検討会、意見交換会など含む）をほぼ毎月の開催を行う。
- 区内の新任ケアマネ向けの研修を行い、新人、就労前ケアマネジャーのスキルアップが図れるよう支援を行った。

### （４）多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

#### 多職種協働による地域包括支援ネットワークの構築・地域ケア会議

- 個別ケースと包括エリアと地域ケア会議を開催する。
- 福祉・医療のネットワーク構築を目的とした『ねっとわーく青葉』では地域課題に向け、各職種の取り組みについて意見交換を行った。

### （５）介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

#### 介護予防ケアマネジメント（指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業）

- 日々の予防業務で実践することでケアマネジメント力の向上を図った。包括プランナーや予防プラン委託の居宅担当者へは随時支援を行った。また、包括ミーティングの場で研修内容を伝え、エリアの介護予防従事者研修を行った。

### （６）一般介護予防事業

#### 一般介護予防事業

- 2か所の元気づくりステーションについて、自立した活動がつづけられるよう支援者向け講習会なども行い、継続した支援を行った。また、新たに始まるスクエアステップの会の立ち上げを行い、地域住民の自主的な活動になるよう支援を続けた。
- 介護予防教室は奈良地域で1コース、奈良北で1コース行った。病院理学療法士と、例年同様栄養士・歯科衛生士などによりロコモ予防・認知症予防のテーマで講座を行った。
- スリーAやスクエアステップリーダーの養成を行い、地域で活動する住民の継続支援と、新たな支援者の拡充を図った。

## 5 その他

--

以下、地域ケアプラザ事業実施評価との相違部分

## 7 施設の適正な管理について

### (1) 施設の維持管理について

29年度は建物(管理棟)の大規模修繕を行い、建物の防水工事並びに冷温水発生器、空調機械の入れ替えを行った。全額法人持ち出しという事で、現在並びにこれからの経営に相当の負荷がかかることになった。

また、設備管理委託業者と年間保守点検計画に基づき、定期点検と不良箇所の整備・改善を行ってきた。大規模改修を行っていたため、例年のように修繕は多くなかったが、業務上支障があるものについては、早期の改善を図り、利用者が安心して活用できる環境をめざしてきた。

日常清掃・定期清掃については掃除業者に委託し、不足部分については各部署の職員が実施し、また、消耗品等については不足が生じないよう点検日を設け、点検・補充を行ってきた。

### (2) 効率的な運営への取組について

情報の交換・共有がすべての鍵である。事業毎の会議を定期的に行い、スピードのある対応を大切にしてきた。一方、具体的な個々の支援に関しては、効率性を求めることができない業務のため、多少時間がかかろうとも、コツコツと地道に懲りない支援を心がけてきた。これまで通り、通所介護、地域交流、居宅介護支援、包括支援センターの4部門がお互いに各々の運営について情報を共有し、重複を恐れず、欠落が無いようお互いに支えあってきた。

職員体制については、ここ数年欠員で業務に支障が生じることなく来たが、次年度は難しい。引き続き情報の交換を大切にしていこうと思う。

### (3) 苦情受付体制について

苦情に対しての最善の解決はすぐに動く・対応することであるという考えを基に運営してきた。苦情受付担当者・解決責任者を明記した案内の掲示や、重要事項説明書の説明と交付に際し、苦情受付について周知をした。築き上げてきた信頼関係を崩すのは容易く、再構築は大きな困難を伴うことを肝に銘じ、即座の対応を心がけてきた。また、利用者アンケートの実施や意見箱により、相談や苦情が気軽に伝えられる環境を整え、いただいたご意見については会議等の場において情報を共有、課題の整理を行ってきた。

職員にとってクレームは苦しいものだが、クレームは、よい関わり・支援への肥やしであることを心にとどめ続けていきたい。

### (4) 緊急時(防犯・防災・その他)の体制及び対応について

防犯については遅番が巡回し、施錠の確認を行ってきた。職員室に警備機械を設置。施錠後、侵入者があれば、警備会社が駆けつけることになっている。

防災については、当法人の「防災マニュアル」に基づき、災害時特別避難場所として備蓄物資の在庫管理と補充を行ない、年間計画に基づき防災訓練と防災教育を実施してきた。

防災訓練では施設の利用者を含めた防災訓練計画を立案・実施し、地域の方々への周知と組織的な動きがとれるよう努めてきた。また、地域の「奈良小学校地域防災拠点運営委員会」に参加し、知識の向上と地域の安全対策に協力してきた。また3月には特別避難場所の訓練を区と協働で行った。



#### (5) 事故防止への取組について

リスクマネジメントとして、定期的に会議、回覧等で、ヒヤリハット・事故報告の事例を報告し合い、組織全体として事故防止に取り組んできた。また、組織全体の情報の共有化を継続して行ってきた。職員会議、各部門の会議、始業・終業時の打合せ等を通して、利用者に対する対応・車両事故の防止（安全運転の励行）・給食、衛生管理等の充実・事務ミス防止等について、より具体的事例を提示しながら周知し、業務のマニュアル、事故発生時の対処マニュアルの確認を継続してきた。また、事故発生時は速やかに対処し、利用者・職員の安全確保を最優先に、またすぐ行動することを第一に事態の収拾にあたってきた。これは、結果として関係者との信頼関係を維持する最善の策と考えている。対応後には、事故報告書を作成し、上記のとおり会議等において周知、再発防止に努めてきた。

#### (6) 個人情報保護の体制及び取組について

職員及び委託業者との「個人情報保護に関する契約書」を取り交わし、福祉業務に携わる者の基本原則であり、職業倫理として当然の個人情報の保護を認識し、研修等を通してその徹底を図ってきた。

個人ファイルの管理に関しては施錠可能な棚にて管理し、鍵の管理に関しても管理者が適切に管理した。個人情報記載されている書類や記録媒体は自宅への持ち帰りを禁止し、やむを得ない理由で外部に持ち出す場合には、管理者の許可を得た上で適切な取り扱いを行ってきた。個人情報を送付する場合は郵送を基本とするが、FAXを使用する場合はマスキングや二重チェック等を行い相手への到達を確認してきた。

他事業所（指定管理以外の介護保険事業所）からの個人情報の対応について不足・課題がある場合には、きちんとした対応を求め、業界全体の意識の底上げに役所とともに取り組んできた。

#### (7) 情報公開への取組について

法人新聞（広報誌）の発行により事業内容などを引き続き公開した。また、ホームページによる事業内容の公開を行い、広報誌の定期発刊や運営協議会、地域での集まり等さまざまな機会をとらえて、複合施設としての事業や方針等を情報として公開してきた。一方、社会福祉協議会、横浜市健康福祉局の設置によるインターネットを利用しての情報公開に積極的に呼応し、当ケアプラザの情報公開を推進してきた。社会福祉法の改正に伴い取り組みを進めてきた。

#### (8) 人権啓発への取組について

地域に対する人権啓発を行うためにはまず、それを実施する地域ケアプラザの職員が、職場内においてお互いに関心を持ち、お互いを思いやるやさしさがあることが前提であり、プラザとして実践してきた。

相談者や貸館の利用者、障害関係の施設の利用・相談者に対してもケアプラザの職員同士で行っているやさしさの実践を心がけ、丁寧で気持ちの良いかわりを持ってきた。当プラザの利用者さんたちも常に気持ちよい対応をいただけたことは、さらに心地の良い関係を築くことにつながってきた。このやさしさが、人権啓発の肝要であり、その中で生まれる利他的な関係は少なくともプラザを利用する地域住民への人権に対する意識づけとなってきた。人権問題は、人の人に対する優しさの欠如と無知から生まれるとのスタンスを忘れず、優しいかわりの実践と地域住民との対話をこれからも継続していきたい。

(9) 環境等への配慮及び取組について

事業用大規模建築物として、廃棄物処理・給食業務委託業者と連携し、横浜市のルールに基づきごみの減量化、資源化を進める努力を継続した。また、雨水利用・大気汚染等環境保全を推進してきた。また、施設管理研修で得た情報を基に、当施設の省エネルギー対策に継続的に取り組み、太陽光発電のパネルを設置し、ガス、電気のコスト削減と大気汚染にこれまでより配慮することができるようになった。さらに、緑の推進団体（横浜市緑の協会）の協力を得て、周辺地域の方々や障害部門の保護者の方々と協働で計画道路や駐車場、敷地内の花壇の整備に努めてきた。

植栽については定期的に業者に剪定を依頼し、また、病気になったり、枯れたりした樹木の植え替えを定期的に行い、施設周辺の美観保持に努めてきた。

【介護保険事業】

●指定介護予防支援事業・第1号介護予防支援事業

《職員体制》

管理者	保健師	常勤兼務	1名
	社会福祉士	常勤兼務	1名
	主任ケアマネージャー	常勤兼務	1名
	介護予防プランナー	非常勤職員	2名

《目標に対する成果等》

予防支援業務の依頼の際、迅速に契約を行い、サービス利用までスムーズに繋げられるように努めてきた。

また、自立支援の視点によりアセスメントを実施し、介護予防プランの作成を行ってきた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

包括的支援業務の3職種とプランナーで毎月ミーティングを行ってきた。

情報共有の必要がある個別ケースや困難ケース等の報告を実施し内容の把握を行ってきた。また、制度の内容について報告、研修を行い、各々のスキルアップに努めてきた。

生活支援コーディネーターも参加し、インフォーマルサービスの状況など情報交換を積極的に行ってきた。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
87	94	97	100	104	104
10月	11月	12月	1月	2月	3月
101	100	97	97	95	92

●居宅介護支援事業

《職員体制》

管理者（介護支援専門員兼務）： 常勤兼務 1名  
 主任介護支援専門員： 常勤専従 1名  
 介護支援専門員： 常勤 2名

《目標に対する成果等》

利用者、家族の主訴、ニーズを聞き取り、必要に合わせて指定居宅サービス事業所等を提案し公平・中立な立場で居宅サービス計画を作成、また実施ができた。

《実費負担（徴収する場合は項目ごとに記載）》

●なし

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の多様なニーズにお答えできるよう十分な職員を配置し、迅速かつスムーズなサービス提供に努める。また、適切なサービス提供が行えるよう、積極的に各種研修に参加し、職員の資質向上に努める。

《利用者実績》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
105	104	104	102	100	103
10月	11月	12月	1月	2月	3月
103	101	97	97	97	101

● 通所介護

《提供するサービス内容》

- 生活指導、健康状態の確認、送迎、入浴、給食
- 介護サービス、趣味活動、レクリエーション、口腔機能向上

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

● 1割負担分

（要介護1）	703円
（要介護2）	819円
（要介護3）	935円
（要介護4）	1,051円
（要介護5）	1,168円

- 入浴介助加算 54円
- 口腔機能向上加算 162円
- 食費負担 750円（1食）
- 事業実施地域以外の交通費 通常の事業の実施地域を越えた所から片道分1kmごとに35円

《事業実施日数》 週 5日

《提供時間》 10:00～ 15:30

《職員体制》

管理者：1名（常勤） 生活相談員：3名（常勤兼務3名）  
 看護職員：2名（常勤兼務1名、非常勤1名）  
 機能訓練指導員2名（看護師兼務2名）  
 介護職員：12名（常勤兼務3名、非常勤9名）  
 歯科衛生士：1名（非常勤1名） 運転職員：2名（非常勤2名）

《目標に対する成果等》

利用者の心身の状況把握に努め、適切な介護計画書を作成した。また、多彩なレクリエーション・趣味活動を取り入れ、必要な日常生活上の支援及び機能訓練を行うことにより、利用者を楽しさと安らぎを与えつつ、心身の機能の維持をはかってきた。同時に利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減をはかってきた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

地域の講師を招聘し、「書道」、「絵画」、「折り紙」、「生け花」、「おやつ教室」「音楽療法」など多彩なプログラムの提供に努めてきた。また、「お花見」、「新年・忘年会」など季節に応じた行事や企画を取り入れ、利用者が楽しく過ごせるようサービス作りに努めてきた。

《利用者実績（延べ人数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
465	511	516	476	535	493
10月	11月	12月	1月	2月	3月
533	476	432	442	415	512

● 介護予防通所介護・第1号通所事業

《提供するサービス内容》

- 生活指導、健康状態の確認、送迎、入浴、給食
- 介護サービス、趣味活動、レクリエーション
- 口腔機能向上の選択サービス

《実費負担（徴収する項目ごとに記載）》

- （要支援1） 1, 869円
- （要支援2） 3, 830円
- 食費負担 750円
- 口腔機能向上加算 162円
- 事業実施地域以外の交通費 通常の事業の実施地域を越えた所から片道分1kmごとに35円

《事業実施日数》 週 5日

《提供時間》 10:00～15:30

《職員体制》

- 管理者：1名（常勤） 生活相談員：3名（常勤兼務3名）
- 看護職員：2名（常勤兼務2名）
- 機能訓練指導員2名（看護師兼務1名、非常勤1名）
- 介護職員：12名（常勤兼務3名、非常勤兼務9名）
- 歯科衛生士：1名（非常勤1名） 運転職員：2名（非常勤2名）

《目標に対する成果等》

利用者の心身の状況把握に努め、適切な介護計画書を作成した。また、それに基づき、運動機能向上、口腔機能向上及集団的レクリエーションを提供してきた。これにより、利用者の生活機能、身体機能の維持・改善を図り、住み慣れた地域で安心して生活が営めるよう支援してきた。

《その他（特徴的な取組、PR等）》

口腔機能向上のサービスの指定を受け、利用者の選択によりサービスの提供を行なってきた。また、上記サービス以外に入浴・趣味活動・レクリエーション等のサービス提供を行い、利用者のニーズに合ったサービスの提供に努めてきた。

《利用者実績（契約者数）》

※ 単位は省略してください。

【単位：人】

4月	5月	6月	7月	8月	9月
69	75	88	83	88	
10月	11月	12月	1月	2月	3月
83	83	70	62	52	67

平成29年度「奈良地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(一般会計)〈地域活動〉

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	17,989,092	△ 293,915	17,695,177	17,695,177	0	横浜市より
利用料金収入			0	0	0	
指定管理料充当 事業	0		0	299,400	△ 299,400	
自主事業収入			0	0	0	この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他(指定管理料充当)	0		0	0	0	
その他(施設使用料相当額 法人負担分)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
収入合計	17,989,092	△ 293,915	17,695,177	17,994,577	△ 299,400	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	10,689,000	0	10,689,000	8,854,480	1,834,520	
本俸	6,000,000		6,000,000	5,446,610	553,390	
社会保険料	1,700,000		1,700,000	1,131,224	568,776	
手当計	2,690,000		2,690,000	1,983,154	706,846	
健康診断費	52,000		52,000	51,290	710	
勤労者福祉共済掛金	7,000		7,000	6,750	250	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	240,000		240,000	235,452	4,548	
その他			0	0	0	
事務費	640,800	0	640,800	2,536,772	△ 1,895,972	
旅費	1,300		1,300	1,226	74	
消耗品費	400,000		400,000	903,308	△ 503,308	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	100,000		100,000	287,351	△ 187,351	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	56,500		56,500	288,837	△ 232,337	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	50,000		50,000	100,538	△ 50,538	
職員等研修費	10,000		10,000	10,260	△ 260	
振込手数料	3,000		3,000	2,808	192	
リース料	20,000		20,000	208,368	△ 188,368	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他			0	734,076	△ 734,076	
事業費	1,187,829	0	1,187,829	396,929	790,900	
運営協議会経費	42,000		42,000	15,852	26,148	予算-指定額
指定管理料充当 事業	1,145,829		1,145,829	381,077	764,752	
管理費	4,616,343	0	5,090,343	6,557,976	2,708,525	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算-指定額
光熱水費	2,700,000	0	2,700,000	4,176,158	2,700,000	
電気料金	900,000		900,000		900,000	
ガス料金	900,000		900,000		900,000	
水道料金	900,000		900,000		900,000	
清掃費	500,000		500,000	756,824	△ 256,824	
修繕費	474,000	0	474,000	180,085	293,915	予算-指定額
機械整備費	100,000		100,000	108,938	△ 8,938	
設備保全費	1,100,000	0	1,100,000	1,229,892	△ 129,892	
空調衛生設備保守	300,000		300,000	303,839	△ 3,839	
消防設備保守	300,000		300,000	303,839	△ 3,839	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	500,000		500,000	622,214	△ 122,214	
雑費			0	0	0	
その他	216,343		216,343	106,079	110,264	
公租公課	855,120	0	855,120	708,358	146,762	
事業所税			0	0	0	この列は入力しない
消費税	855,120		855,120	708,358	146,762	
印紙税			0	0	0	この列は入力しない
その他( )			0	0	0	この列は入力しない
事務経費 (計算根拠を説明欄に記載)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	この列は入力しない
当該施設分			0	0	0	この列は入力しない
二一三対応費			0	0	0	この列は入力しない
支出合計	17,989,092	0	18,463,092	19,054,515	3,584,735	
差引	0	△ 293,915	△ 767,915	△ 1,059,938	△ 3,884,135	

自主事業費収入	1,145,829		1,145,829	0	1,145,829	予算-指定管理料に含む
自主事業費支出	1,145,829		1,145,829	381,077	764,752	
自主事業収支	0	0	0	△ 381,077	381,077	⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費
管理許可・目的外使用許可収入	0		0	0	0	0 駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0		0	0	0	0 使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0		0	0	0	

**平成29年度「奈良地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書(特別会計)<包括・介護予防・生活支援体制整備>**

収入の部

(税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料(包括)	23,186,973	△ 78,137	23,108,836	23,108,836	0	横浜市より
指定管理料(介護予防)	149,440		149,440	149,440	0	横浜市より
指定管理料(生活支援)	5,789,000	1,827,838	7,616,838	7,616,838	0	横浜市より
利用料金収入			0			この列は入力しない
指定管理料充当事業(包括)	0		0	83,515	△ 83,515	
指定管理料充当事業(介護予防)	0		0	0	0	
指定管理料充当事業(生活支援)	0		0	17,100	△ 17,100	
自主事業収入			0			この列は入力しない
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0	0	0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
駐車場利用料収入	0		0	0	0	
その他(指定管理充当)	0		0	0	0	
その他(提案時控除 法人負担分)	0		0	0	0	
<b>収入合計</b>	<b>29,125,413</b>	<b>1,749,701</b>	<b>30,875,114</b>	<b>30,975,729</b>	<b>△ 100,615</b>	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	25,519,000	0	25,519,000	30,348,428	△ 4,829,428	
本俸	14,000,000		14,000,000	14,290,950	△ 290,950	
社会保険料	4,000,000		4,000,000	4,033,065	△ 33,065	
手当計	6,399,000		6,399,000	11,028,641	△ 4,629,641	
健康診断費	90,000		90,000	85,068	4,932	
勤労者福祉共済掛金	30,000		30,000	26,250	3,750	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	1,000,000		1,000,000	884,454	115,546	
その他			0	0	0	
事務費	365,143	0	365,143	5,479,687	△ 5,114,544	
旅費			0	0	0	
消耗品費	200,000		200,000	517,305	△ 317,305	
会議随費			0	0	0	
印刷製本費			0	0	0	
通信費	100,000		100,000	245,801	△ 145,801	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
横浜市への支払分			0	0	0	
その他			0	0	0	
備品購入費			0	0	0	
図書購入費			0	0	0	
施設賠償責任保険	30,000		30,000	148,863	△ 118,863	
職員等研修費	10,000		10,000	68,926	△ 58,926	
振込手数料	10,000		10,000	34,840	△ 24,840	
リース料	10,000		10,000	514,590	△ 504,590	
手数料			0	0	0	
地域協力費			0	0	0	
その他	5,143		5,143	3,949,362	△ 3,944,219	
事業費	2,014,155	0	2,014,155	1,149,761	864,394	
協力医	630,000		630,000	630,000	0	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(包括)	925,715		925,715	346,243	579,472	
指定管理料充当自主事業(介護予防)	149,440		149,440	149,729	△ 289	予算:指定額
指定管理料充当自主事業(生活支援)	309,000		309,000	23,789	285,211	予算:指定額
管理費	1,227,115	0	1,353,115	1,743,242	719,990	
建築物・建築設備点検	0		0	0	0	予算:指定額
光熱水費	900,000	0	900,000	1,110,117	900,000	
電気料金	300,000		300,000	300,000	300,000	
ガス料金	300,000		300,000		300,000	
水道料金	300,000		300,000		300,000	
清掃費			0	201,180	△ 201,180	
修繕費	126,000		126,000	47,863	78,137	予算:指定額
機械整備費	30,000		30,000	28,957	1,043	
設備保全費	297,115	0	297,115	326,927	△ 29,812	
空調衛生設備保守	100,000		100,000	80,767	19,233	
消防設備保守	100,000		100,000	80,767	19,233	
電気設備保守			0	0	0	
害虫駆除清掃保守			0	0	0	
駐車場設備保全費			0	0	0	
その他保全費	97,115		97,115	165,393	△ 68,278	
共益費			0	0	0	
その他			0	28,198	△ 28,198	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税	0		0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他( )			0	0	0	
事務経費(計算根拠を説明欄に記)	0	0	0	0	0	この列は入力しない
本部分			0	0	0	
当該施設分			0	0	0	
二一ス対応費			0	0	0	
<b>支出合計</b>	<b>29,125,413</b>	<b>0</b>	<b>29,251,413</b>	<b>38,721,118</b>	<b>△ 8,359,588</b>	
差引	0	1,749,701	1,623,701	△ 7,745,389	8,258,973	

自主事業費収入	1,384,155			100,615		予算:指定管理料に含む
自主事業費支出	1,384,155			519,761		
自主事業収支	0			△ 419,146		⇒自主事業(指定管理料充当の自主事業)費

管理許可・目的外使用許可収入	0			0		駐車場利用料金・自動販売機手数料収入等法人収入
管理許可・目的外使用許可支出	0			0		使用料(横浜市への支払等)・駐車場設備保全費
管理許可・目的外使用許可収支	0			0		



# 平成29年度 自主事業収支報告書

資料4

施設名 **奈良地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
えんがわ倶楽部	70歳以上	158,381	地活	28481	129900	0	12360	3369	142652
	166		包括						
	1回500円		生活						
囲碁教室	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	80人		包括						
	なし		生活						
おさんぽ広場	未就園児と保護者	11,765	地活	11,765	0	0	0	11765	0
	463人		包括						
	なし		生活						
わらべうた ベビーマッサージ	乳幼児と保護者	26,500	地活	0	26500	0	0	26500	0
	106人		包括						
	1回500円		生活						
リトミックならら♪	未就園児と保護者	142,500	地活	0	142,500	0	0	142,500	0
	623人		包括						
	1回500円		生活						
男性の為の料理教室 親父の味一番	男性高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	73人		包括						
	3回1,000円		生活						
唄声ひろば	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	469人		包括						
	1回100円		生活						
健康麻雀サロン	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	299人		包括						
	なし		生活						
書道教室 硯友会	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	96人		包括						
	1回500円 会会計		生活						
土曜日は家族で ケアプラザへ行こう！！	一般	13,244	地活	5,744	7,500	0	0	13,244	0
	61人		包括						
	1回500円		生活						
海の日コンサート	一般	2,966	地活	2,966	0	0	2,966	0	0
	68人		包括						
	なし		生活						
親子で楽しむ パネルシアター	未就園児と保護者	12,685	地活	12,685	0	0	0	0	12,685
	74人		包括						
	なし		生活						

ごとに別紙に記載してください。

事業名	①主な対象者 ②参加人数 ③一人当たり参加費	自主事業決算額							
		総経費	収入			支出			
			指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
会場利用団体交流会	会場利用団体	4,560	地活	4,560	0	0	0	0	4,560
	44人		包括						
	なし		生活						
高齢者の運転について の 交通安全勉強会	一般	1,040	地活	1,040	0	0	0	0	1,040
	23人		包括						
	なし		生活						
みんなでウォーキング！	一般	840	地活	840	0	0	0	0	840
	40人		包括						

平成29年度 自主事業収支報告書

	なし		生活						
だれでもコンサート	一般	3,160	地活	3,160	0	0	0	0	3,160
	53人		包括						
	なし		生活						
減塩大作戦	高齢者	0	地活	0	0	0	0	0	0
	18人		包括						
	なし		生活						
ポピュラーソング コンサート	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	49人		包括						
	なし		生活						
奈良 花の会	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	83人		包括						
	なし		生活						
押絵教室	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	10人		包括						
	1500円		生活						
書初め教室	小学生	0	地活	0	0	0	0	0	0
	20人		包括						
	なし		生活						
あおばカノン2018 みんなでつながる チャリティコンサート	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	650人		包括						
	なし		生活						
絵手紙教室 なでしこ	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	19人		包括						
	1回400円		生活						
絵手紙教室 遊心会	一般	0	地活	0	0	0	0	0	0
	35人		包括						
	1回500円		生活						

ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業収支報告書

施設名 **奈良地域ケアプラザ**

事業名	①主な対象者	自主事業決算額							
	②参加人数	総経費	収入			支出			
	③一人当たり参加費		指定管理料	参加費	その他	講師謝金	材料費	その他	
ここならカフェ	一般	100,821	地活	65,121	35,700	0	0	20,926	79,895
	275人		包括						
	1回100円		生活						
出張ここならカフェ IN 奈良5丁目	一般	4,556	地活	3,956	600	0	0	0	4,556
	7人		包括						
	1回100円		生活						
出張ここならカフェ IN 奈良北	一般	14,407	地活	9,007	5,400	0	7,000	0	7,407
	55		包括						
	1回100円		生活						
介護教室	一般	10,450	地活	10,450	0	0	0	0	10,450
	89人		包括						
	なし		生活						
介護者のつどい	介護者	7,212	地活	7,212	0	0	0	0	7,212
	35		包括						
	なし		生活						
奈良町の 魅力発見	一般	1,540	地活	1,540	0	0	0	0	1,540
	34		包括						
	なし		生活						
華麗なサロン	一般	22,249	地活	5,149	17,100	0	0	15,633	6,616
	57		包括						
	300円		生活						
スクエアステップ リーダー講習会	一般	164,824	地活	50,824	0	114,000	84,000	0	80,824
	103		包括						
	なし		生活						
奈良北夏祭り	地域住民	40,562	地活	10,147	30,415	0	0	38,522	2,040
	300		包括						
	販売品売上げ		生活						
あそぶんジャー!!	青葉区内在住学齢障がい児	0	地活	0	0	0	0	0	0
	43		包括						
	青葉メゾン会計		生活						
青葉区エンディング ノート 「わたしノート」の 書き方講座	高齢者	100	地活	100	0	0	0	0	100
	29		包括						
	なし		生活						
神奈川県消費 生活出前講座 「みんなで防ごう 詐欺・悪質商法」	高齢者	970	地活	970	0	0	0	0	970
	23		包括						
	なし		生活						

事業ごとに別紙に記載してください。

# 平成29年度 自主事業報告書

資料4

## 奈良地域ケアプラザ

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
囲碁教室	高齢者自立支援、囲碁教室 仲間作り・高齢者閉じこもりの予防。福祉保健の情報等の提供および相談機関との関係構築を図る。	毎月2回 (8月、1月 は月1回) 年間22回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
唄声ひろば	高齢者自立支援事業 唄を通して健康維持・仲間作り・高齢者閉じこもりの予防 福祉保健の情報等の提供および相談機関との関係構築を図る。「歌声喫茶」	毎月1回 (8月を除く) 年間11回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
えんがわ倶楽部	高齢者ミニデイサービス 介護予防、自立支援を念頭に様々な活動を通して地域の高 齢者同士が交流を持ち、引きこもりを予防し健康で生き生 きとした生活が送れるよう支援。また随時、福祉保健の情 報を提供し、日常的に相談ができる関係を築いていく。 「いつまでも生き生き健康に！」をテーマに月に1回集ま り、健康体操など介護予防を重視した活動も取り入れる。 演奏会・工作・講話・レクリエーション等を実施。	毎月1回 (8月を除く) 年間11回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
男性のための料理教室 「親父の味一番」	男性高齢者自立支援、男性の料理教室 仲間作り・高齢者閉じこもりの予防。福祉保健の情報等の提供及び相談機関との関係構築を図る。	毎月1回 (8月、12月、1月除く) 年間9回実施

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康麻雀サロン	高齢者自立支援、麻雀教室 地域の中高年の介護予防・引きこもり防止と団塊世代の地域にお住いの方同士の交流を目的に、初級者・中級者を中心に「飲まない・賭けない・吸わない」健全な麻雀をできる環境を提供する。	月2回 年間24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書道教室 硯友会	介護予防・仲間作り・高齢者閉じこもり防止。介護予防・仲間作り・高齢者閉じこもり防止。ケアプラザが、身近な相談窓口として、福祉保健活動を広げる拠点としての機関であることを周知する。また、参加者に負担なく自主活動が継続していくよう支援する。	月1回 年間12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おさんぽ広場	子育て支援事業 未就園児と保護者のためのフリースペース。 集団生活に馴染んで頂き仲間作りを図る。ニーズの把握。 子育て相談機関・情報を周知する。 奈良地区及び奈良北地区民生・児童委員共催。	月2回 (1月は1回) 年間23回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
リトミックなら ら♪	未就園児の頃から音楽に触れることで、リズム感や音楽感性、身体の動きなどを身に付ける。また、親同士の交流やストレスの軽減を図り、子育ての身近な相談窓口としてのケアプラザの周知を目的とする。	月 2 回 年間 2 4 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
わらべうた ベビーマッサージ	子育て支援事業 生後2か月からハイハイ期までの赤ちゃんとその保護者を対象に、外に出るきっかけ作りと子育ての楽しさ、親同士の交流、ストレスの軽減を図り、子育ての身近な相談窓口としてのケアプラザの周知を目的とする。 赤ちゃんの心身の発達と精神の安定を目的に、赤ちゃんにリラックス感を母親の手から伝えてあげながらマッサージを行う。	毎月 1 回 (8月を除く) 年 1 1 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あそぶん ジャー!!	地域障害児への余暇活動の場の提供。 (料理・ダンス・制作活動・フラワーアレンジメント・外出・キャンプ等) 障害や年齢を超えた地域の交流。地域の実態やニーズの把握。障害の理解を伴うボランティア育成。 対象：小学校3年生～高校3年生	年間 6 回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ポピュラー ソング コンサート	地域住民の方々に、気軽にコンサートを楽しんでもらうと共に、施設の機能や役割を理解していただく機会とする。	5 月 年間 1 回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
会場利用団体交流会	ケアプラザ会場利用団体のネットワーク構築のための親睦会。 ケアプラザの役割や事業PR及び会場利用に際しての案内各団体の自己紹介等。	6月 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
海の日コンサート	地域住民の方々に音楽を通し絵、施設に足を運んで頂き、福祉施設の機能や役割を理解していただく。 地域福祉保健支援団体の活動の場を提供。市民オーケストラの演奏会。	7月 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子で楽しむパネルシアター	保育園・幼稚園に通っていない幼児とその親を対象にパネルシアターや読み聞かせを通して交流を図るとともに、今後の子育て支援事業に対するニーズの把握を行う。また、ケアプラザにて子育て支援を実施していることを周知していく。	7月、12月 年間2回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青葉メゾン 奈良地域 ケアプラザ祭り	福祉保健祭り 地域住民の方々に事業の内・外から参加していただき、祭りを通して施設の情報等を提供すると共に、福祉施設の機能や役割を理解していただく。	10月 年間1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
押絵教室	講師を招いて押絵教室の開催。 地域住民の方々に押絵を通して、施設に足を運んで頂き、福祉施設の機能や役割を理解して頂く。	12月 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
奈良中学校 2年生 認知症 サポーター 養成講座	奈良中学校2年生を対象とした認知症サポーター養成講座。 認知症高齢者等が地域で安心して暮らしていけるよう地域住民を対象に認知症の普及啓発を図ることを目的とし、認知症の基礎知識を学ぶ。	2月 年間1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
書初め教室	小学生と地域住民である高齢者が書道を通して交流を図る。 これから学ぶことの多い小学生に字の書き方や筆の使い方などの基本的な事を学んでもらう。また、硯友会（書道教室）の方たちは教える立場になる為、自らの活動の振り返りの場となる。	12月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
土曜日は家族で ケアプラザへ 行こう！！	地域の子育て世代を支援する事業として、未就園児や乳幼児とその保護者を対象に家庭ですぐに使える情報やコツを習得してもらい、普段子育てに関わることの少ないお父さんを巻き込んだ家族向けの子育て事業になっており、パパ同士・ママ同士のそれぞれの交流の機会を設け、ケアプラザを身近な相談窓口として認知していただき、日々の子育ての不安を軽減することと関係機関につなげることを目的とする。	年4回 (6月、12月、 3月) ※9月は中止



# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
減塩大作戦	ヘルスマイトとの共催事業。稔り(みのり)の世代向けの食育講座。 高齢者の食生活を見直す機会作り、同世代の交流の場・仲間作り、健康で生き生きとした生活ができるよう自立支援を促す。	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
高齢者の運転についての交通安全勉強会	高齢ドライバーに見られる特性や、交通事故の現状を知る。高齢者講習や自主返納の手続き等を知るとともに、免許返納後安心して暮らせる社会についても考える機会とする。	9月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
だれでもコンサート	地域住民の方々にコンサートを通して当施設に足を運んで頂き、施設の機能や役割を理解していただく。また、参加者に今後の地域交流事業についての周知を行なう。	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みんなでウォーキング!	鴨志田地域ケアプラザとの共催事業。 地域の垣根を越えて交流を図る。また、介護予防や仲間作り、高齢者の閉じこもりの防止。福祉保健の情報等の提供および相談機関との関係構築を図る。	11月 年2回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
奈良 花の会	各家庭で園芸が行えない人が多く、ケアプラザ・またはその周辺で同じ趣味を持つ人同士の交流の場を目的とする。また、ケアプラザの機能を知らない人も多い為、園芸の活動を通して周知をする。 定期的な園芸活動と、2ヶ月に一度は施設内で情報交換や交流の場を目的に茶話会を実施。必要に応じて適宜花の入替えなどの作業をする。	年6回 ※適宜活動

事業名	目的・内容	実施時期・回数
あおばカノン 2018 みんなで つながる チャリティ コンサート	青葉区内にある福祉保健施設（地域ケアプラザ等）と青葉区民文化センターフィリアホールが主となって開催するチャリティコンサートイベントである。	3月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室 なでしこ	介護予防、仲間作り、高齢者閉じこもり防止。ケアプラザが、身近な相談窓口として、福祉保健活動を広げる拠点としての機関であることを周知する。また、参加者に負担なく自主活動が継続していくよう支援する。	月1回 (8月まで)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
絵手紙教室 遊心会	介護予防、仲間作り、高齢者閉じこもり防止。ケアプラザが、身近な相談窓口として、福祉保健活動を広げる拠点としての機関であることを周知する。また、参加者に負担なく自主活動が継続していくよう支援する。	月1回 (8月まで)

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ここならカフェ	認知症に対する不安を取り除く、認知症の方や家族への支援、閉じこもりがちな人が外出するきっかけ等、の役割を持ったカフェを開くことで、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりの一端を担うことを目的とする。	月1回 年12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張 ここならカフェ IN 奈良5丁目	昨年すみよし台盛圓寺にて知っ得く安心講話を行う際、ここならカフェの出張講座としても開催した。ケアプラザから遠い地域の住民にもカフェを周知する目的で、要望のあった5丁目で行うこととする。	月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
出張 ここならカフェ IN 奈良北	毎年奈良北民児協、自治会、地区社協と共催で講座を行っている。地域ケア会議エリア会議で奈良北団地の高齢者の交流が課題となっていることもあり、音楽療法をメインにしたここならカフェと相談コーナーも受け開催したい。今後奈良北団地で継続開催していけるかも検討していきたい。	月1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護教室	介護に携わる方、関心のある方々に対し福祉保健・介護に関する知識、技術、サービス等の情報を提供し、地域住民一人一人が健康と福祉に対する理解を深め、高齢者にとって安心して生活できる地域社会を目指す。	年4回 (6月、9月、 12月、2月)

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
介護者のつどい	介護者同志のピアカウンセリングの場を定期的を開催し、介護方法や介護で困っていることをひとりで抱え込まずに介護負担の軽減に繋げられるように支援する。またアドバイザーにも同席してもらい、介護に関する助言や情報提供等をしてもらう。	年6回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
奈良町の魅力発見	奈良地区連合自治会長関根宏一氏より奈良町の歴史について紹介地域住民に奈良町の歴史を知っていただき、地域に対して愛着を持っていただく。	6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
華麗なサロン	ボランティアの方々が作ったカレーを地域の方々に提供して、住民同士の交流の場にしてもらう。また来所してもらうことで、ケアプラザの雰囲気や活動を知ってもらう。	6月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
青葉区エンディングノート「わたしノート」の書き方講座	エンディングノートの普及啓発を行いながら、自身の人生を振り返りつつ介護予防の重要性や、今後の人生において権利擁護の基礎知識を学んでもらう。エンディングノート作成の経緯、介護予防、成年後見制度についての講話、「わたしノート」への記入方法についての説明を実施。	12月 年1回

# 平成29年度 自主事業報告書

事業名	目的・内容	実施時期・回数
神奈川県消費生活出前講座 「みんなで防ごう詐欺・悪質商法」	昨今の消費者被害の現状を知ってもらい、消費者被害の防止につなげてもらう。 老人クラブ「秋桜会」参加者を対象に消費者被害の現状、クーリングオフの方法等について講話を実施。	11月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
スクエアステップリーダー講習会	地域の運動リーダーとしての役割を理解し、地域で継続した活動とするため、参加者をサポートしていくこと、それにより受講者本人を含め地域住民の健康増進・地域の活性化に寄与してボランティア活動を行える人材を育成する。 地域支援リーダーの活躍、意義・心得について、トレーニングの原則、体調チェックについて、準備運動、整理体操の理論の講話。準備体操、基本ステップの実技を実施。	7月・8月 5回シリーズ

事業名	目的・内容	実施時期・回数
奈良北夏祭り	地域の主催する催しに参加することにより、地域との連携を図ると共に、地域のニーズを把握する機会とする。 また、ケアプラザの機能・役割を周知する。 主催：奈良北自治会、小田急自治会 祭りのイベントのひとつとして、模擬店を開設。 実行委員会への参加。催しの準備・片付け。	7月 年1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
みのり会エンディングノート説明会	エンディングノートの普及啓発を行いながら、自身の人生を振り返りつつ介護予防の重要性や、今後の人生において権利擁護の基礎知識を学んでもらう。 「わたしノート」への記入方法についての説明を実施。	11月 年1回